



平成21年4月23日

各位

会社名 みずほ信託銀行株式会社
 代表者名 取締役社長 野中 隆史
 コード番号 8404 東証一部・大証一部

当社の親会社 株式会社みずほフィナンシャルグループ
 代表者名 取締役社長 塚本 隆史
 コード番号 8411 東証一部・大証一部

平成21年3月期 通期業績予想（連結・単体）および期末配当予想の修正

平成21年3月期 通期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）の業績予想（連結・単体）および期末配当予想について、下記の通り修正いたします。

記

1. 平成21年3月期 通期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）業績予想の修正

(単位：億円)

	連結			単体		
	経常 収益	経常 利益	当期 純利益	経常 収益	経常 利益	当期 純利益
前回予想(A) (※)	2,350	350	200	2,050	335	200
今回修正予想(B)	2,300	△120	△300	2,000	△90	△280
増減額(B-A)	△50	△470	△500	△50	△425	△480
増減率	△2.1%	—	—	△2.4%	—	—

(※) 平成20年11月13日に公表したもの

【修正の理由】

当社連結・単体において、①実質業務純益（信託勘定償却前・一般貸倒引当金繰入前業務純益）が減少する見込であること、②与信関係費用が増加する見込であること、③株式等損益が悪化する見込であること、④繰延税金資産の取崩し額の増加等に伴い、前回予想を修正するものです。

2. 平成21年3月期 期末配当予想の修正

(普通株式)

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
前回予想(※)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 1.00	円 銭 1.00
今回修正予想	—	—	—	0.00	0.00
当期実績	—	0.00	—	—	—
前期実績 (平成20年3月期)	—	0.00	—	1.00	1.00

(※) 平成20年11月13日に公表したもの

(第一回第一種優先株式)

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	年 間
前 回 予 想 (※)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 6.50	円 銭 6.50
今回修正予想	—	—	—	0.00	0.00
当 期 実 績	—	0.00	—	—	—
前 期 実 績 (平成20年3月期)	—	0.00	—	6.50	6.50

(第二回第三種優先株式)

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	年 間
前 回 予 想 (※)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 1.50	円 銭 1.50
今回修正予想	—	—	—	0.00	0.00
当 期 実 績	—	0.00	—	—	—
前 期 実 績 (平成20年3月期)	—	0.00	—	1.50	1.50

(※) 平成20年11月13日に公表したもの

【 修正の理由 】

期末配当予想につきましては、1. に記載の業績予想を踏まえ、誠に遺憾ではございますが、上記の通り、普通株式・優先株式とも無配とさせていただくものです。

以 上

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・本発表資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。・また、本発表資料内の記載は投資勧誘を目的として作成されたものではなく、日本国内外を問わず証券の募集を行うものではありません。 |
|---|

【 参考資料 】

平成 21 年 3 月期 通期業績予想<単体>の概要

(単位：億円)

	前回予想 (20 年 11 月) (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)
実質業務純益 ^(※)	600	390	△210
与信関係費用(△)	150	270	120
株式等損益	△55	△175	△120
経常利益	335	△90	△425
税引前当期純利益		△110	
法人税等調整額(△)		170	
当期純利益	200	△280	△480

(※) 信託勘定償却前・一般貸倒引当金繰入前業務純益

- ◇ 実質業務純益は、財管部門粗利益の減収等により、前回予想比 210 億円程度減少し、390 億円程度となる見込です。
- ◇ 与信関係費用は、昨年下半年以降の急速な国内景気の悪化等を背景に、前回予想比 120 億円程度増加し、270 億円程度となる見込です。
- ◇ 株式等損益は、昨年下半年以降の大幅な株価下落に伴う減損処理額の増加等により、前回予想比 120 億円程度悪化し、△175 億円程度となる見込です。
- ◇ 上記の要因等により、経常利益は、前回予想比 425 億円程度減少し、△90 億円程度となる見込です。
- ◇ また、繰延税金資産の算定に係る将来収益をより保守的に見積もったことに伴い、繰延税金資産を 170 億円程度取崩し、同額を法人税等調整額に計上いたしますことから、当期純利益は、前回予想比 480 億円程度減少し、△280 億円程度となる見込です。

以 上